

STOP GENOCIDE IN GAZA

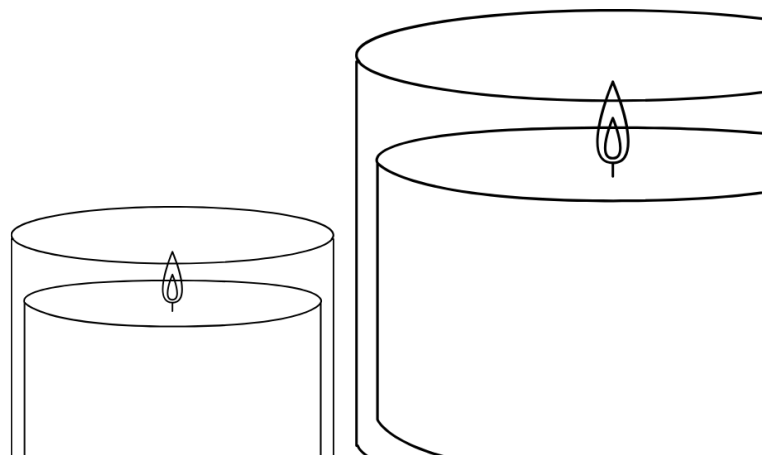


ガザの人々は今日もまた、
爆音と閃光に眠れぬ夜を過ごすのでしょうか。
私たちは明日もまた、
泣き叫ぶ子どもの映像を
目にしなければならないのでしょうか。
もうたくさんです。
私たちの沈黙を破りましょう。
キャンドルを手にし、集まりましょう。
持ち寄った光を〈広島の声〉に変え、
原爆ドーム前から世界に伝えましょう。

主催：ストップジェノサイド・ヒロシマ

11.11 sat
17:00 - 18:30

📍 原爆ドーム前 | Hiroshima Atomic Bomb Dome



あなたの想いをキャンドルに託して
みんなの光をあつめて、広島から届けたい
キャンドルとガラス瓶を手にして原爆ドーム前にお越しください。

【キャンドル】

アルミキャップキャンドルに限定させていただきます。100円ショップなどで売っています。



【ガラス瓶】

ご家庭にあるジャムなどの空き瓶でも大丈夫です。できるだけ耐熱ガラスのもの、風よけになる5cm以上の高さがあるものを持ってきてください。100円ショップなどでも売っています。



田浪亜央江（ストップジェノサイド・ヒロシマ 呼びかけ人）

今日は10月7日。ハマースがガザから越境攻撃し、イスラエルが待ち構えたように過剰な応戦を開始してから丸一カ月です。

伝え聞くガザの状況は、悲惨極まりないです。

ガザ市内に自宅がある友人が、食べ物がない、塩辛い水しかない、と書いて来てからもう3週間が過ぎています。

（しばらくやり取りが途絶えた後、おととい久しぶりにやり取り出来ましたが、それでどうなるものでもありません）。

イスラエルの極右政党出身の閣僚が、ガザに核兵器を使うことも「選択肢の一つ」と発言して停職処分となりました。

これは大統領自らが交戦国に対して核による威嚇を行ったロシアのケースとは違い、核だけに注目すると「失言」ですが、

むしろガザの人々を集団的に「非人間化」したジェノサイド扇動発言として問題にすべきかと思えます。

とにかく無茶苦茶な事態のなか、あらゆる場所から、様々な次元で・いろいろな方法で、ガザの事態への関心を喚起する取り組みが必要だと思えます。

ということで、急きょ呼びかけが始まったのが、「11.11 ストップ・ジェノサイド in ガザ」アクションです。

（この日は奇しくも第一次世界大戦の停戦記念日で、戦勝国の間では祝日となっていますが、中東ではむしろ、英仏列強による植民地支配の起源と捉えるべき日です）。

参加される方々は、出来るだけキャンドルを持参して下さい（許可を取りましたので、本物の火のつくキャンドルです）。

そして原爆ドーム前で、集まったキャンドルで「STOP GENOCIDE IN GAZA」の文字を描くことを目指します。

こちらが賛同フォームです。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScRfVkt1ZM9svIJqnyJMriYbuiM3OllsbGh9sVl63r1Fl2TjQ/viewform>

また、広報用のフライヤーのデザインと、持参用キャンドルの説明文を添付させていただきます。急なアクションのため、一部に不備があったり、途中から細部に変更があったりするかもしれませんが、大きく目指すところは、

ガザのジェノサイドを止めようという思いを出来るだけインパクトのあるかたちで、広島で可視化しようということに尽きます。

お仕事その他の事情でなかなか身動きの取れないという方々からも、もどかしいという思いが伝えられたりしています。

賛同人になる・アクションについて拡散する・周りの方に代わりに参加してもらおう、といったやり方も含め、ご協力・ご参加をお願い致します。